

- 9:1 ヨブは答えて言った。
9:2 まことに、そのとおりであることを私は知っている。
しかし、どうして人は自分の正しさを神に訴えることができるのか。
9:3 たとい神と言い争おうと思っても、千に一つも答えられまい。
9:4 神は心に知恵のある方、力の強い方。神に身をこわくして、だれがそのままで済むだろうか。
9:5 神が山々を移されるが、だれもこれに気づかない。
神は怒ってこれをくつがえされる。
9:6 神が地をその基から震わすと、その柱は揺れ動く。
9:7 神が太陽に命じると、それは上らない。星もまた封じ込められる。
9:8 神はただひとりで天を張り延ばし、海の大波を踏まれる。
9:9 神は牡牛座、オリオン座、すばる座、それに、南の天の室を造られた。
9:10 神は大いなることを行なって測り知れず、その奇しいみわざは数えきれない。
9:11 たとい神が私のそばを通り過ぎて、私には見えない。
神が進んで行っても、私は認めることができない。
9:12 ああ、神が奪い取ろうとするとき、だれがそれを引き止めることができるのか。
だれが神に向かって、「何をされるのか。」と言えよう。
9:13 神は怒りを翻さない。

- ラハブを助ける者たちは、みもとに身をかがめる。
9:14 いっさい、この私が神に答えられようか。
私が神とことばを交せようか。
9:15 たとい、私が正しくても、神に答えることはできない。
私をさばく方にあわれみを請うだけだ。
9:16 たとい、私が呼び、私に答えてくださったとしても、神が私の声に耳を傾けられたとは、信じられない。
9:17 神はあらしをもって私を打ち砕き、理由もないのに、私の傷を増し加え、
9:18 私に息もつかせず、私を苦しみで満たしておられる。
9:19 もし、力について言えば、見よ、神は力強い。
もし、さばきについて言えば、だれが私を呼び出すことができるか。
9:20 たとい私が正しくても、私自身の口が私を罪ある者とし、
たとい私が潔白でも、神は私を曲がった者とされる。

ヨブはビルダデに同意します。神は絶対者で、人間が訴えることも言い争うことも、また妨げることもできません。私たちが「神には逆らえず、私は愛されていない」と感じてしまうことがあるかもしれません。ヨブは的を射たことを言っています。

しかし、ヨブにはまだ二つのことに気づくべきでした。ひとつは「正しい」というのは、あくまでも人と比べてのことであって神の絶対の前には誰もが罪人であるということです。神は心をごらんになるからです。もうひとつは”神は赦すお方

である”ということです。ただ神の正しさの前に恐れおののいて諦めるではありません。あわれみに頼ることができるのです。
神様の恵は、その義の大きさよりも勝るのです。恵みの源である十字架に、ただ感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

